



希望と期待を胸に！

学部長 飯沼 利光

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さん、いよいよ新学期が始まりました。日本大学歯学部は、皆さんの歯科医療従事者になるという人生の目標に向け、全教職員がしっかりとサポートし、そして応援してまいります。

皆さんは、日本大学の教育理念である「自主創造」について考えたことはありますか。「自主創造」は、『自ら学ぶ・自ら考える・自ら道をひらく』を構成要素と能力に定めています。この3つの要素はとてもシンプルですが、置かれた状況や立場でその意味は変化をします。例えば、日々の学修の視点からみると、自ら学ぶ：学ぶことの目的を理解し準備する、自ら考える：効率的な勉強方法の探求や改善をする、自ら道をひらく：わからないことを克服して自分の知識とし、更なる疑問点を追求する、と解釈できるかもしれません。その一方で、歯科医師の視点からみると、自ら学ぶ：患者さんへの最良の医療を身に着ける、自ら考える：患者さんへの最善の治療を探求する、自ら道をひらく：どんなに難しい治療でも強い意志をもってやり抜く、というように様々にその意味を変化させることができます。これらのことからわかるように「自主創造」という言葉は、7万人を超える日本大学の学生の皆さんにとって共通の理念となりえるのだと思います。

いま、皆さんは新たな年度を迎え、希望と期待、そして若干の不安が心に交差しているかもしれません。皆さんの一人一人が自分の心に「自主創造」の理念を抱き、それを糧に学生生活を有意義に過ごしてくれることを期待します。

(教授 歯科補綴学第Ⅰ講座)

新入生の皆さんへ

目的意識を持った学修の継続

学務担当 林 誠



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは「歯科医師になる！」という目的を持って日本大学歯学部に入學されました。これから大学生としての新たな生活が始まり様々な事を経験されるかと思いますが、学業面における皆さんの目的達成に重要な事は低学年時での学修習慣の確立です。また、入学当初の目的を見失わず基礎的事項の学修を継続して積み重ねていく事が歯科医師になる最も確実な方法であります。現在、歯学教育の世界は改革が進行中であり、本年度は共用試験（4年生で実施予定の全国規模の試験）が公的化（国が管理する試験）となる年でもあります。日本大学歯学部は、皆さんの目的達成のために最大限のサポートを約束します。（教授 歯科保存学第Ⅱ講座）

歯科医師となる第一歩

学生担当 本吉 満



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんはここに歯科医師になるための第一歩を踏み出すわけですが、その実現には弛まぬ努力が必要であり、これまでの生活とは大きく異なる日常を送ることになります。そこには「自分是可以る」という自己効力感を持つことが重要であり、心身ともに健康であることが必須です。是非どこかのクラブに加入していただいて仲間を作り、先輩からの勉強を含めたアドバイスを受けることも重要です。皆さんが学生生活を送るうえで生じる悩み事などを気軽に相談できるように各学年には数名の教員が担任として付いています。こういったクラブの先輩や教員・担任と繋がりを持ち、充実した学生生活を送っていただきたいと思います。（教授 歯科矯正学講座）

（教授 歯科矯正学講座）

「継承と創造」

同窓会会長 横江 順



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ日本大学歯学部へ。皆さんを新たに仲間としてお迎えすることは、私たち同窓会にとっても大変喜ばしく、本会を代表して、お祝いと歓迎の意を表します。また、ご家族や関係者の皆さまにも心からお慶び申し上げます。日本大学歯学部同窓会は、大正5年（1916年）4月15日に歯学部の学祖である「佐藤運雄」先生が36歳で東洋歯科医学校を設立し、大正10年（1921年）4月15日に同窓会が発足し、本年度で103年を迎えることとなります。その輝かしい伝統と実績は、在校生と卒業生に自信と誇り、そしてステータスをもたらします。同窓会は、「継承と創造」をビジョンとして掲げ、母校を思い、歯学部・在校生・卒業生に惜しみない多様な支援を続けます。そのために、次世代を担う皆さんへ明確なメッセージを発信できるよう対話を大切にいたします。夢と希望を抱き国民社会に貢献する歯科医師を目指してください。きっと、あらゆる場面で全国の同窓先輩の方々が必ずや笑顔で迎えてくださいます！

夢に向かって

後援会会長 西田 香



ご入学おめでとうございます。歯科医師になるという目標をもって今スタートを切った皆様は、大きな期待で胸がいっぱいの事と思います。歯学部の学生の皆様は国家試験の合格という同じ目標に向かって進んでいきます。その目標を達成するためには、沢山の知識を習得し、能力を向上させる努力が必要ですが、その過程で日本大学の自主創造の精神である、自ら学び、自ら考え、自ら道をひらく力を身に付け、人としての人間力を高めていってください。将来歯科医師になるというイメージを想像するにはまだ少し早いかかもしれませんが、夢に向かって失敗を恐れず、高い志を持ち、歩んでいってほしいと思います。私たち後援会は皆様に応援しサポートします。

学生会より

学生会会長 齋藤 円



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学生会会長の齋藤円です。これから始まる大学生活について皆さんはどのような想像をしているのでしょうか。期待や不安で胸がいっぱいなことかと思

います。私自身5年前、初めて日本大学歯学部に登校した日は期待と不安でいっぱいだった事を思い出しました。みなさんもきっと同じようなお気持ちではないでしょうか。日本大学歯学部の先輩方、先生方はとても優しい方が多いです。日々の学生生活や勉強のことなどで不安なことがあれば、ぜひ我々先輩や、先生方を頼ってみてください。皆さんのご入学を心より歓迎しております。立派な歯科医師を目指して6年間精進していきましょう。（第6学年）

クラブ協議会より

クラブ協議会会長 佐藤 太



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

皆さんはどんな大学生活を描いていますか。その中には部活動も含まれているのではないのでしょうか。本学には、36の多種多様な

クラブがあります。そのクラブに所属し、通常の活動以外にも合宿や歯学体などを通じて充実した時間を過ごすことができます。また、同学年の友達を始め、先輩、後輩、OB、OGなど縦や横の繋がりがたくさん出来ます。これは、6年間の大学生活の中でとても重要で、皆さんを助けてくれるものになります。

もちろん、クラブに所属する、しないは皆さんの自由です。クラブ協議会は、クラブ活動について皆さんをサポートする組織ですので、些細な事で何でも聞いてください。（第5学年）

事務局の紹介

【教務課】 入学時の学生証の発行から歯科医師国家試験受験に関する手続きまで、授業や試験などの勉学に関する事務手続きを扱っています。勉学上必要な事項は『学部要覧』や『授業計画（シラバス）』に記載してありますので、これらによく目を通してください。また、授業や試験に関する連絡はNU-Mail等で行います。そのため、常にNU-Mail等を確認する習慣を身につけてください。

【学生課】 快適で充実した学生生活を送るために様々な支援を行っています。窓口では通学証明書や学割の発行、忌引届や住所変更届などの諸届けの扱い、各種奨学金の手続きなどを行っています。また、クラス懇親会に対する助成手続、学生会やクラブ活動に関する相談や助言なども行っています。さらに、球技大会、桜歯祭、リーダーズキャンプ、全日本歯科学生総合体育大会（歯学体）などの学生行事にも携わっています。

【学生支援室】 皆さんが学生生活を過ごしていく上での様々な問題について、学生の立場に立って相談に応じています。「こんなことを相談するのは恥ずかしい」などと気がねせず、気軽に訪問してください。6年間の学生生活では、辛いこと、困ったこと、誰かに話を聞いてほしいこと、様々なことがあると思います。他人にとっては些細に思えることでも、本人にとっては、とても大事なこともあります。相談員は、インテーカーの資格をもつ教員（月曜日昼休み）に加え、日本大学本部学生支援センターより、臨床心理士が配置されています（火～金曜日）。守秘義務のある専門家が、皆さんの立場になって話を聞きますのでプライバシーは厳守されます。他者に話をする事で、気持ちが整理されたり、新たな視点に気付くことがあるかもしれません。学生生活に何らかの困難を感じた時、選択肢の一つとしてください。

【保健室】 学生と教職員の皆さんが、大学生活や職場において心身共に健康で充実した時間が過ごせるよう、学校医兼産業医（月曜日午後）、精神科医（第2・4木曜日午後）、看護師（平日、土曜不定期）が、健康の保持増進のための支援をしています。学生の皆さんは、日頃より自身の体調や健康状態に関心を持ち、健康管理に心がけていただくと共に、生活の中で健康に関する悩みや相談が生じた場合には、いつでも保健室（3号館1階）に相談をしてください。

【図書館】 学修、研究を支援するため、学術情報や学修スペースを提供します。生命科学分野の図書、雑誌を中心に収集、整理、提供をしています。電子ブック、検索データベースなどのオンライン資料も充実しており、学外からの利用が可能です。ラーニングコモンズ、グループスタディールームを設置し、図書館資料の他、インターネット、ホワイトボード等を利用した自由な学びをサポートします。また、利用者と資料を結ぶため、図書館員による相談サービスを提供しています。図書館ウェブサイトから各種の申込みをオンラインで行うことが可能です。

クラス主任・ 担任メッセージ

第一学年

主任	山岡 大	教 授	物 理 学
担任	藤原 恭子	准教授	解剖学Ⅰ
担任	佐藤 紀子	准教授	健康科学
担任	渡辺 孝康	専任講師	化学
担任	岩崎 太郎	助 教	歯科補綴学Ⅲ

山岡主任：ご入学おめでとうございます。皆さんが我が歯学部をくぐることは、歯科医師へ踏み込むための知識の深化の他に、友情の結びつき、自己発見の機会を掴み取ることであります。大学生活は、インスピレーションに満ちた授業、そしてキャリアへの扉を開くチャンスを提供します。我々はこの学びの旅を全力でサポートします。

藤原担任：ご入学おめでとうございます。皆さんはこれから歯科医師を目指して学業に励んで行くこととなりますが、高校時代とは異なる点も多く、勉強方法等について不安を感じることもあるかもしれません。そんな時は一人で悩まず、いつでも気軽に相談に来てください。

佐藤担任：充実した毎日を過ごすためには、動機づけがとても重要です。自分の行動を自分で決めること、少し難しいと思うことでもチャレンジし達成感を味わうこと、信頼できる仲間を見つけること、そうすることでモチベーションは高まるはずです。担任として応援します！

渡辺担任：ご入学おめでとうございます。第1学年の前期には、化学など高校でも馴染みのある教養系科目を中心に学びますが、しっかり学修しないと後れをとることになります。後期に学ぶ基礎系科目でつまづくことのないよう、4月から気を引き締めて臨んで下さい。

岩崎担任：ご入学おめでとうございます。これからの始まる歯学部での大学生活では、まず学修習慣を身につけ



ましょう。勉学は日々の積み重ねが大切です。また学業以外では、課外活動にも積極的に取り組みましょう。これらが充実した日々を送る秘訣だと思います。

第二学年

主任	菊入 崇	教 授	小 児 歯 科 学
担任	近藤 真啓	准教授	法 医 学
担任	好士 亮介	専任講師	医 療 人 間 科 学
担任	小笹 佳奈	助 教	口 腔 内 科 学

菊入主任：進級おめでとうございます。今年度からクラス主任を務めます菊入です。2年生からは、歯科医学に関する内容の授業が本格的に始まる重要な学年となります。戸惑うことも多くなるとは思いますが、充実した学生生活が過ごせるよう、可能な限り皆さんをサポートしていきますので、みんなで頑張りましょう。

近藤担任：第2学年は人体の構造や機能、病態など、医学の基礎を学修する時期です。臨床科目を学ぶための土台をしっかりと築いていきましょう。また、学業以外でも興味のあることには積極的に挑戦して欲しいと思っています。なにか困った時はいつでも訪ねてきてください。

好士担任：第2学年では、診察や治療に直結する基礎歯学の科目がより増え、より歯科臨床をイメージしやすくなり、歯科医師への道を進んでいることを実感するでしょう。その分、知識や技術の習得等も大変ですが、目標をもって、楽しく充実した1年を過ごしてください。

小笹担任：進級おめでとうございます。昨年後期から引き続き、2年生は歯科医師に必要な基本的な知識を身に付けるための重要な期間となります。一緒に切磋琢磨し、有意義な1年にしていきましょう。皆さんが、充実した学生生活を送れるようサポートしていきます。

第三学年

主任	小 峰 太	教 授	歯 科 補 綴 学 Ⅲ
担任	二 宮 禎	准教授	解 剖 学 Ⅰ
担任	阿 部 仁子	准教授	摂食機能療法学
担任	三澤 麻衣子	専任講師	医 療 人 間 科 学

小峰主任：いよいよ3年生からは、歯科臨床の基礎となる内容に関する授業および実習が本格的に始まります。これらは歯科医師になってから、生涯にわたり必要な知識です。また、学業のみならずクラブ活動など、充実した1年間を過ごせるよう、クラス担任一同で皆さんをサポートしていきます。

二宮担任：第3学年では、歯科医学の基礎だけでなく臨床に関する科目も学習しますので、歯科医師になる意識が高まってくると思います。最初はペースを掴むのに苦労するかもしれませんが、知識が増えることを楽しんで下さい。学力のみならず、人間力の向上も期待しています。

阿部担任：新3年生の皆さん、進級おめでとうございます。今年度からクラス担任を務めさせていただきます。学業だけでなく学校行事やクラブ活動などにも精一杯取り組んで、

充実した学生生活を送ってください。皆さんのサポートに努めます。どうぞよろしくお願いいたします。

三澤担任：3年生では、人から学ぶことを考えてみましょう。教員に将来像を重ねることが増えてくるでしょうし、同級生の良いところ悪いところも理解しあえてくる学年です。人から学ぼうと前向きであると、3年生がよい年になるように思います。がんばりましょう。

第四学年

主任	野 間 昇	教 授	口 腔 内 科 学
担任	馬 谷 原 琴 枝	准 教 授	歯 科 矯 正 学
担任	西 尾 健 介	専 任 講 師	歯 科 補 綴 学 I
担任	角 田 麻 里 子	助 教	病 理 学

野間主任：第4学年の皆さん、進級おめでとうございます。臨床実習に進む前に必要な知識、技能、態度を評価するためのCBTとOSCEが公式化され、2024年度から本格的に実施されます。皆さんはこの新たな国家試験を初めて受ける学年となります。学年全体で団結し、全員が合格できるよう頑張りましょう！！

馬谷原担任：進級おめでとうございます。第4学年は臨床系の科目も多くなり歯科医師になることをより一層感じると思います。大きな試験も控えていますので、これまでの知識をしっかりと身につけてください。今後の臨床実習や国家試験へとつながりますので頑張ってください。

西尾担任：新4年生の皆さん、ご進級おめでとうございます。私も皆さんと一緒に第3学年から第4学年のクラス担任に進級いたしました。4年生になると、クラブ活動では幹部学年ですね。さらに学業ではCBT・OSCEがあるので、今年は例年以上に忙しい一年になりますが頑張ってください。しっかりサポートいたします。

角田担任：4年生の皆さん、進級おめでとうございます。新学年が始まったばかりですが、皆さんの関心は既にCBTやOSCEにあるのではないのでしょうか。5年生に向けて、必要な知識をまとめていく1年間になるかと思います。お互い助け合いながら是非乗り切っていただきたいです。

第五学年

主任	浅 野 正 岳	教 授	病 理 学
担任	陸 田 明 智	准 教 授	歯 科 保 存 学 I
担任	伊 藤 智 加	専 任 講 師	歯 科 補 綴 学 I
担任	安 田 裕 康	助 教	歯 科 補 綴 学 II

浅野主任：いよいよ院内実習を行う第5学年となりました。実際に患者様に接し、現実の歯科治療を目の当たりにすることは、国家試験をパスするうえで極めて重要な過程です。是非、積極的に取り組み、自分ならどうやって治療するかと自身に問いかけながら、臨床実地問題への対応力を身につけてください。ゴールを見据え、弛まぬ努力を！

陸田担任：第一関門（CBT、OSCE）を突破し、これから臨床実習が始まります。臨床の場は国家試験に向けて多くの知見を得るだけではなく、歯科医師として進むべき道も

見えてきます。また、学生であっても社会人として対応が求められます。自覚を持って行動してください。

伊藤担任：ご進級、おめでとうございます。いよいよスチューデントデンティストとしての臨床実習が始まります。患者さんと対峙することにより、多くのことを学ぶ大切な1年となることでしょう。1つ1つを確実に自分のものとし、残り多き1年となりますことを願っています。

安田担任：ご進級おめでとうございます。第5学年は臨床実習が始まり、今までとは大きく異なるため最初は精神的にも体力的にも負担が大きいと思います。しかし今年学修した事は、歯科医師になってからも使える知識や技術がたくさんありますので頑張って実習に臨んでください。

第六学年

主任	武 市 収	教 授	歯 科 保 存 学 II
担任	人 見 涼 露	専 任 講 師	生 理 学
担任	大 山 哲 生	専 任 講 師	歯 科 補 綴 学 II
担任	古 地 美 佳	専 任 講 師	総 合 歯 科 学
担任	白 玉 博 司	助 教	口 腔 外 科 学 II

武市主任：いよいよ最終学年がスタートしました。国家試験に向けて、過不足のない学修が求められます。これまで学んできた知識の定着を図りつつ、不十分と思われる科目や課題を分析し、計画的な勉強を心掛けてください。気が抜けない一年となりますが、全面的にバックアップしてまいりますので、よろしくお願いいたします。

人見担任：進級おめでとうございます。とうとう最終学年です。臨床実習を経て歯科医師になる自覚と覚悟がより強くなったのではないのでしょうか。今年度は国家試験合格に向けてコツコツと勉強をしていく一年です。将来の自分の姿を想像しながら後悔しない毎日を送っていきましょう。

大山担任：進級おめでとうございます。学生生活最後に残された卒業、国家試験という大きな試練に打ち勝つためには、絶対に卒業して国家試験に合格するぞ！という強い意思の力が大切です。精一杯サポートしますので、何でも相談してください。

古地担任：今年度は、勉強に忙しい中で、臨床研修施設の選択もしなければなりません。でも臨床研修について考えることは、自分の1年後を想像し、将来を考えることになるので、結果として勉強のモチベーションも上がると思います。必要な時には相談してください。

白玉担任：昨年度に引き続き第6学年クラス担任を務めて参ります。国家試験合格を目指して、第5学年で学修した内容を応用し、知識の整理・向上に努めてください。たゆまぬ努力が求められる1年間ですが、学習計画をしっかりと立て、目標に向けて共に頑張って参りましょう。



96名に学士(歯学)の学位記を伝達



3月25日、本学部本館大講堂（創設百周年記念講堂）において、学位記伝達が行われました。飯沼歯学部長から学位記が伝達され、併せて学長賞、優等賞、学部長賞等の授与が行われました。同日、大学院歯学研究科修了者26名にも本学部4号館大会議室にて、博士（歯学）の学位記が伝達されました。

~~~~~



### 青木真由さんに学長賞

日本大学は各学部において、在学中の学業成績が最も優れていた者に学長賞を授与しています。本年度の受賞の栄誉に輝いたのは青木真由さんでした。

**青木真由**：この度は名誉ある学長賞を頂き、大変光栄に思います。今までの人生で最も充実した6年間でしたが、自分自身の足掻いた苦悩や努力の日々が随分と輝くものと驚きました。また何よりも、ご指導くださった先生方や共に研鑽を積んだ学友、何時も支えてくれた家族あつての賞だと心から感じております。自身の恵まれた環境を何よりも誇りに思います。この場を借りて御礼申し上げます。この度は誠にありがとうございました。



の変化が著しく戸惑いましたが、皆様の支えにより乗り越えることができました。今後はこれまでの学びを糧に、いっそう精進して参ります。ありがとうございました。

**長崎朋佳**：この度はこのような素晴らしい賞を頂き、大変光栄に思います。充実した6年間を送ることができ、優等賞を頂けたのは先生方、友人、家族、様々な方の支えがあったからこそであり、この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後はより一層の研鑽を積み、お世話になった方々に少しでも恩返しができるように日々精進して参ります。この度は誠にありがとうございました。



### 令和5年度卒業生3名に優等賞

学業成績が学長賞に準ずる者に授与されるのが優等賞です。本年度は工藤玲さん、酒井皓子さん、長崎朋佳さんの3名が受賞されました。

**工藤玲**：この度は優等賞という名誉ある賞を頂いたこと、大変嬉しく思います。遠隔授業や実習時間の短縮により、思うように学修が進まないこともありました。そんな中で、6年間勉学に向き合い続け、充実した日々を過ごすことができたのは、先生方や先輩後輩、友人、家族の支えのおかげであると感謝しています。今後も驕ることなく、周囲の方々のご指導を頂きながら精進してまいります。



**酒井皓子**：この度は名誉ある賞を頂き、大変光栄に存じます。ご指導いただきました諸先生をはじめ、両親、友人など多くの皆様に、この場をお借りして心からの感謝を申し上げます。この6年間はCOVID-19の蔓延もあり、環境



### 学部長賞を11名が受賞

優等賞に準じた功績を修めた者に授与される部科校長賞には、学業部門、学術・文化部門、スポーツ部門、善行部門、その他があります。本年度は、学業部門：小暮祐大さん、清水ひかりさん、菅原周さん、松浦京花さん、山本明昇さん スポーツ部門：入江亮輔さん、その他：井上和貴さん、上林ちひろさん、坂口結菜さん、平田隼輝さん、丸山佳人さんの11名が受賞されました。



### 歯学部同窓会会長賞を2名が受賞

人物優秀で、学業・体育などの部門で優秀な成績を修め本学部の名誉を高揚した者、ならびに学生生活活動の推進に著しく貢献し、本学部の発展に功績が認められた者に授与される同窓会会長賞を、岩佐幸範さん、大倉万莉菜さんの2名が受賞されました。



大祐暮小



清水ひかり



菅原周



松浦京花



山本明昇



入江亮輔



井上和貴



上林ちひろ



坂口結菜



平田隼輝



丸山佳人



岩佐幸範



大倉万莉菜



## 卒業に際して

令和5年度卒業生代表 丸山 佳人

入学した当初は、友達が出来るのか、勉強についていけるのかなどと不安を抱えながらのスタートでした。ですが、こうやって振り返ってみると、そのような心配を軽く跳ね除けてしまう位、素晴らしいクラスメイトに恵まれた6年間だったと思います。私達のクラスは、誰が主役といった姿ではなく、本当に全員が個性豊かな主役として活躍した学年だと私は思っています。途中、新型コロナウイルスの流行などもあり、2年近く深く関われない期間もありましたが、そのブランクも感じさせない程に共に助け合うことが出来た学年だとも思っています。卒業し、新たな歯科医師としての人生も、同輩とともに切磋琢磨し日々研鑽していく所存でございます。また、最後になりますが、この様な機会、経験を与えて下さった教職員の皆様、保護者の皆様、誠にありがとうございました。



## 新教授 紹介

### 『医歯一元論』



清水 治

令和5年4月1日から歯学部  
口腔外科学第Ⅰ講座科長、同年  
10月1日歯学部口腔外科学第Ⅱ  
講座教授に就任し、11月1日か  
らは日本大学歯学部附属歯科病  
院副院長を拝命しました。私

自身、日本大学歯学部口腔外科に残って37年になります。1997年からの2年間、米国ボストンにあるマサチューセッツ総合病院（MGH）に留学しましたが、ほとんどが日本大学歯学部での37年間でした。創始者である佐藤運雄（かずお）先生が提唱された『医歯一元論』は、歯学部脈々と引き継がれている理念であり、入試面接の度に受験生が口にする歯学部の『一丁目一番地』です。近年、全国の医学部と歯学部を持つ大学においては医学部附属病院と歯学部附属病院が一体化される流れにあり、医科と歯科の相乗効果でより高いレベルの医療を来院して頂く患者さんに提供すべきだとの考えが広まっています。つまり、『医歯一元論』が本家より全国の医科・歯科大学で先行しているのが現状です。本歯科病院と最も近い存在である日本大学病院とは物理的に離れているため一体化とはいかないまでも、さらなる緊密な医療連携を行っていかなければその差は開く一方です。連携連携と『言うは易く行は難し』です。これまで、口腔外科からは1名の先生が半年ごとに日本大学病院の救命救急センターで研修し、下顎骨折の手術症例があればそれに関わり、摂食機能療法科は口腔リハビリテーションのために往診していますが、それらは単科単発の連携です。これからは周術期口腔機能管理を端緒として医療連携を図る必要があると考えます。この口腔機能管理は手術の回復を早め合併症を減少させるため、平成24年度から健康保険診療に導入されています。保険収載されてから10年以上経過した現状を顧みて、是非歯科医師、衛生士、看護師、技工士、病院事務の方々の協力を得て、近い存在の日本大学病院との医療連携をさらに発展させたいと思います。

（教授 口腔外科学第Ⅱ講座）

#### 【略 歴】

昭和61年3月日本大学歯学部卒業。日本大学助手、講師（専任扱）、専任講師、准教授を経て、令和5年10月本学教授。博士（歯学）。64歳。

## 「食べる」を科学する

米永 一理



令和6年4月1日付で、摂食  
機能療法学講座の主任教授に就  
任いたしました。本講座は、平  
成16年に前任の植田耕一郎先  
生を初代教授として開設され、  
本邦歯学部でもっとも早期に創

設された「食べる」をみることを専門とする医局です。政府は約10年前に、健康寿命の延伸、幸福社会を掲げ、これらの実現ために、「食べる」を科学しマネージメントする専門家が求められるようになってきました。一方本講座は、諸先輩方の先見の明により、20年も前に創設されており、本学が歯科界のリーダーであり続けている所以であると感じております。

「食べる」ことは、生きる根幹です。この「食べる」を、多職種連携の中で主治医として支えられることが、歯科医師のプレゼンスをさらに高めるために重要と考えています。また社会生活において、「食」は多くの分野と関わりがあります。例えば、産学官連携で「食べる」ことに困ったら歯科に相談しようとなれば、単に医療分野との連携だけでなく、飲食業や小売業、農林水産業などと広く関わるようになり、歯科の活躍の場は益々広がってくると思います。

このように「食べる」に介入できるようになるためには、口腔・摂食嚥下機能のみならず、全身的、精神心理的、社会的要因の把握が必要であり、多くの知識と技術が求められます。一方で歯科医師の王道は、あくまで齲蝕、歯周病、咬合治療であり、その上で「食べる」もみることができるようになることが大切と考えています。

以上を踏まえ、本講座では、本学部の理念でもある『医学的歯学』を実現すべく、『「食べる」を通じて各領域の結節点となり、医学的歯学を実践する』ことを医局理念として運営していく所存です。「食べる」を科学し、歯科医師人生をともに楽しめる仲間が増え、日本大学歯学部および歯科界の発展に貢献できるとうれしく思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

（教授 摂食機能療法学講座）

#### 【略 歴】

平成18年鹿児島大学歯学部卒業。平成25年東海大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院顎口腔外科学・歯科矯正歯科助教、十和田市立中央病院総合内科医員、JR東京総合病院総合診療科医長、東京大学大学院医学系研究科イートロス医学講座講座長・特任准教授を経て、令和6年4月本学教授。博士（医学）。44歳。

## 球技大会に向けて

球技大会実行委員会委員長 北畠 有里子



今年度も球技大会を開催できること、とても嬉しく思います。前回はコロナ禍に入って中止されていたクラブ対抗を復活させることができ、横の繋がりでだけでなく縦の繋がりの大切さを再確認出来た素晴らしい球技大会となりました。

同じ目標に向かって進んでいく中でかけがえのない仲間と参加した行事は必ず意味のあるものになると信じています。令和6年度で48回目の開催となるこの行事の伝統を守りつつ、より良いものになるよう改善していきたいと思います。実行委員一丸となって参加された皆様が楽しんでいただけるように準備を重ねてまいりますので当日を楽しみにして下さい。皆様のご参加、心よりお待ちしております。(第5学年)

## 沖縄県歯科医師会会長の 表敬訪問

岡 俊一

沖縄県歯科医師会の米須敦子会長が、令和6年2月2日に飯沼利光歯学部長を表敬訪問されました。米須会長は県歯科医師会長としては、日本初そして唯一の女性歯科医師会長であります。

平成26年より歯科麻酔科は歯科麻酔科OBを中心に、厚労省、沖縄県、沖縄県歯科医師会の共同事業である障害者に対する全身管理を年に数回担当してきました。また摂食機能療法科は、毎年沖縄県歯科医師会で、沖縄県障害者歯科地域協力医研修会を行い、地域協力医の育成に貢献しております。

米須歯科医師会長からは、これまでの日本大学歯学部との協力を述べられ、また一層の協力を求められました。

飯沼歯学部長からは、以前「沖縄県無歯科医地区等における歯科巡回診療事業」に歯科医師として1か月滞在していたこと、また沖縄在住の歯学部OBについてなど、沖縄と日本大学歯学部の繋がりについて話をされました。また、歯学部内での女性歯科医師の育成および登用をより積極的に行う方針であることを話されました。さらに、「日本大学歯学部はもとより、必要に応じて他学部にも働き掛け、沖縄県歯科医師会との協力を推進したい」と述べられました。



(教授 歯科麻酔学講座)

## 「学生選書委員」 大募集

歯学部図書館

「こんな本が図書館にあったならなあ」と思ったことはありませんか？

歯学部での授業や試験には直接かわりはないけれど、勉学のヒントになったり、落ち込んだ時に元気を与えてくれたり、現実から連れ出してくれたりする本との出会いは貴重なものです。学生選書委員になれば、友達や先輩後輩のために貴重な出会いを演出することができます。

令和3年度から、当時の分館長の提案のもと学生選書方式が導入されました。同世代の仲間が選ぶことで、歯学部生がより興味を持てる本を揃えることが目的です。歯学部の教育研究に関係する専門図書の選書は、各講座・教室から選出された教員が担当し、それ以外の教養系図書は学生選書委員が担当しています。

図書の選択は、年に5回、オンラインで行われます。お薦めの本を自由に推薦できますが、特にお薦めが無い場合でも、書店と図書館職員とで用意した新刊リストの中から選ぶこともできます。選ばれた図書は、各月の図書委員会で承認後に購入となります。最近では選書委員になりたいという学生が増え、自由推薦図書も大幅に増加しました。令和6年度からは、「こんなに面白い本があるよ」とアピールをする展示活動や、本にまつわるイベントなどをラーニングコモンズで開催していく予定です。

本を読むこと、文章を書くことが苦手な人は多いと思います。苦手意識を克服するために選書委員になるのもよいのではないのでしょうか。委員には学部生、専門学校生であれば誰でもなれます。希望者を募集中ですので、少しでも興味がある方は図書館で問い合わせしてみてください！



## 令和6年度 歯学部予算の概要

経理長 樋口 肇

令和6年度歯学部予算について計上した特徴的な事業計画及び収支状況は以下のとおりです。

### 1 予算計上した特徴的な事業計画

|                      |        |
|----------------------|--------|
| ①本館及び3号館・4号館計画修繕     | 《新規事業》 |
| ②老朽化した施設・設備等の更新      | 《継続事業》 |
| ③「新カリキュラム」推進に向けた取り組み | 《継続事業》 |

### 2 歯学部総合予算（事業活動）の収支状況

| 令和6年度 歯学部総合予算 |            |
|---------------|------------|
| 事業活動収入合計      | 68億6,870万円 |
| 事業活動支出合計      | 74億7,867万円 |
| 基本金組入前収支差額    | △6億817万円   |
| 基本金組入前収支比率    | △8.85%     |

令和6年度予算の目標は、昨年度に引続き教育・研究環境の整備・充実と財務状況の健全化です。

竣工後5年を経過した本館の計画修繕が始まります。施設・設備を長く快適に使用していくためには適切な時期に適切な修繕や更新が必要です。現在の歯学部の財務体力では全てを一度に行うことは出来ません。計画を立てて安全・安心に配慮し進めていきます。併せて3号館・4号館についても同様です。

また引き続き老朽化した教育機器や医療機器等の更新も優先度を考慮し計画的に行います。

そして2番目の目標である次代につなぐための貯金ですが、残念ながらまだ目に見える形での貯金は出来ません。少しずつでも部内に資金を残すことを目指します。

光熱水費については国の補助政策や教職員皆さんの省エネ努力により令和4年度に比べ減少していますが、いつまで補助政策が続くのかわかりません。また国の賃上げ政策の影響により人に依存する内容の業務委託費等の上昇や諸物価の高騰が続いており厳しい状況です。

限りある資金を有効に活用し教育・研究及び医療環境の維持・充実に努め、またこの先の歯学部100年を目指して、予算の執行に際しては、その重要度や緊急度を再度検討いただき効果的・効率的に執行されるよう重ねてお願いいたします。

## 令和6年度歯学部進学相談会

- 第1回 6月16日(日)
- 第2回 7月21日(日)
- 第3回 8月18日(日)
- 第4回10月12日(土) (桜歯祭と共催・相談ブースのみ)

※実施方法等は、歯学部ホームページをご確認ください。

### Webオープンキャンパス

歯学部ホームページで、歯学部紹介や模擬授業の動画、バーチャル校内見学を配信しています。

## 専門学校進学相談会

日時：第1回 5月19日(日)  
第2回 6月16日(日)  
第3回 7月 7日(日)  
第4回 8月25日(日)

10時00分～13時00分  
(予約制)

場所：日本大学歯学部3号館

### 概要

- 個別相談：本学専任教員が各種相談を承ります。
- 校内見学：講義室、実習室等を見学します。
- 体験実習：
  - 《技工専門学校》  
歯科用材料を使用し、技工操作の一部の体験ができます。(随時)
  - 《衛生専門学校》  
11：00より専任教員による実習体験を行います。  
※両校とも体験実習への参加は受験生のみとなります。

## NewsPlus α

☆令和6年能登半島地震発生に係る募金活動について

令和6年能登半島地震において被災された方々を支援するため、募金活動をしております。御協力のほどよろしくお願いいたします。

【期間】  
令和6年2月29日(木)～令和6年7月31日(水)

【募金箱設置場所】  
本館1階入口学生エントランス受付カウンター  
本館1階中央管理室(防災センター) 受付カウンター  
3号館1階学生課窓口  
4号館1階庶務課窓口

お預かりした募金については、日本赤十字社の取り扱う「令和6年能登半島地震災害義援金」へ振り込みます。

☆謝恩会が開催されました

令和5年度卒業生主催による謝恩会が、令和6年3月7日(木)に東京會館において、飯沼利光学部長、横江順同窓会会長、西田香後援会会長、卒業生、御父母、同窓会、後援会、教職員などが出席し盛大に開催されました。

☆令和6年度ティーチングアシスタントが決定

TA…大熊理沙子・庄司 元音・宮田 泰伎・森山 鮎子・新井 聡美・小野美紗恵・我喜屋 佑・北野 晃平・堀越 大地・若林 杏美・岡野 真之・西原 佑哉・星野 恵佑・篠原 理恵・西川 昂佑・西澤英里佳・小見山 奏・吉川 可菜・田中 千秋

学 事

令和 6 年度上村安男・治子研究費給付者

|          |                     |       |  |
|----------|---------------------|-------|--|
|          | (所属・資格は令和6年3月31日現在) |       |  |
| 解剖学第Ⅰ講座  | 准 教 授               | 藤原 恭子 |  |
| 生理学講座    | 専 任 講 師             | 人見 涼露 |  |
| 感染症免疫学講座 | 教 授                 | 今井 健一 |  |

令和 6 年度佐藤研究費（研究）給付者

|               |                     |       |  |
|---------------|---------------------|-------|--|
| (口腔科学系)       | (所属・資格は令和6年3月31日現在) |       |  |
| 解剖学第Ⅰ講座       | 准 教 授               | 二宮 禎  |  |
| 解剖学第Ⅱ講座       | 准 教 授               | 山崎 洋介 |  |
| 生理学講座         | 専 任 講 師             | 坪井 美行 |  |
| 生化学講座         | 准 教 授               | 田邊奈津子 |  |
| 病理学講座         | 教 授                 | 浅野 正岳 |  |
| 感染症免疫学講座      | 准 教 授               | 田村 宗明 |  |
| 薬理学講座         | 専 任 講 師             | 山本 清文 |  |
| 歯理工学講座        | 准 教 授               | 小泉 寛恭 |  |
| 衛生学講座         | 専 任 講 師             | 中井久美子 |  |
| 法医学講座         | 准 教 授               | 近藤 真啓 |  |
| 口腔内科学講座       | 教 授                 | 岡田 明子 |  |
| 歯科保存学第Ⅰ講座     | 教 授                 | 宮崎 真至 |  |
| 歯科保存学第Ⅱ講座     | 准 教 授               | 清水 康平 |  |
| 歯科保存学第Ⅲ講座     | 准 教 授               | 高山 忠裕 |  |
| 歯科補綴学第Ⅰ講座     | 助 教                 | 西尾 健介 |  |
| 歯科補綴学第Ⅱ講座     | 助 教                 | 安田 裕康 |  |
| 歯科補綴学第Ⅲ講座     | 助 教                 | 岩崎 太郎 |  |
| 歯科矯正学講座       | 准 教 授               | 納村 泰弘 |  |
| 小児歯科学講座       | 教 授                 | 菊 上 崇 |  |
| 歯科麻酔学講座       | 助 教                 | 梶原 美絵 |  |
| 口腔外科学第Ⅰ講座     | 専 任 講 師             | 篠塚 啓二 |  |
| 口腔外科学第Ⅱ講座     | 助 教                 | 白土 博司 |  |
| (基礎科学系)       |                     |       |  |
| 基礎自然科学分野（生物学） | 教 授                 | 藤田 智史 |  |
| 基礎自然科学分野（化学）  | 専 任 講 師             | 渡辺 孝康 |  |

課程博士

|                                                                                                                                                                                                                     |              |        |  |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|--------|--|
|                                                                                                                                                                                                                     | (令和6年3月25日付) |        |  |
| マウス舌神経損傷による舌神経障害性疼痛の性差に対する中枢神経系免疫細胞の役割                                                                                                                                                                              |              | 坂梨 公亮  |  |
| Multiple neuromodulatory systems activated by acquiring conditioned taste aversion in alert rats revealed by positron emission tomography (条件付け味覚嫌悪を獲得した覚醒ラットにおける活性化脳領域のPETによる検索)                                   |              | 小林 理美  |  |
| The effect of high glucose concentrations on HMGB1 production in MG-63 osteoblast-like cells (高濃度グルコースがMG-63骨芽細胞様細胞のHMGB1産生に及ぼす影響)                                                                                  |              | 中島 諒哉  |  |
| 短鎖脂肪酸が誘導する歯肉上皮由来Ca9-22細胞の細胞死とダメージ関連分子パターンの放出には活性酸素種産生によるオートファジー亢進が関係する                                                                                                                                              |              | 三宅 希和  |  |
| Involvement of oral bacteria-produced short-chain fatty acids in the development of alveolar osteitis (口腔内細菌が産生する短鎖脂肪酸と歯槽骨炎の関係)                                                                                     |              | 朝山 雄之  |  |
| がん専門病院と医学部附属病院における周術期等口腔機能管理の現状とその比較                                                                                                                                                                                |              | 内山 貴夫  |  |
| アライナー型矯正装置に使用するアタッチメント装着時の分離材による影響                                                                                                                                                                                  |              | 嘉悦 峻   |  |
| Low-intensity pulsed ultrasound induces osteoblast differentiation mediated by the PYK2-ERK2 pathway in osteoblasts (LIPUSはPYK2-ERK2伝達経路を介した骨芽細胞分化を誘導する)                                                            |              | 宇津 暁久  |  |
| Low-density lipoprotein receptor-related protein 1を欠損させたleptin receptor陽性細胞が歯槽骨形成に与える影響                                                                                                                             |              | 西村 調   |  |
| 歯科用コーンビームCTを用いた矯正歯科治療前後の舌位に関する研究                                                                                                                                                                                    |              | 和氣 清尊  |  |
| フィラー含有率の違いが試作フロアブルレジン（構造発色および色調適合性に及ぼす影響                                                                                                                                                                            |              | 新井 友依子 |  |
| Influence of different types of prophylaxis pastes on surface texture of tooth substrates and restorative materials (異なる種類の歯面清掃用ペーストが歯質および修復材料の表面性状に及ぼす影響)                                                          |              | 甘利 佳之  |  |
| Effect of application of polishing paste containing S-PRG filler on prevention of tooth enamel demineralization (S-PRGフィラー含有研磨ペーストのエナメル質脱灰抑制効果)                                                                     |              | 飯島 達也  |  |
| Effect of ion-releasing filler-containing gel application on dentin remineralization using optical coherent tomography and ultrasonic velocity measurement (イオン徐放性フィラー含有ゲルが象牙質の再石灰化に及ぼす影響に関する光干渉断層画像法および超音波測定による検討) |              | 奥脇 岳人  |  |

|                                                                                                                                                                                                         |       |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| Bond performance and mechanical properties of self-adhesive flowable resin composites (自己接着性フロアブルコンポジットレジンの接着性能および機械的性質)                                                                                | 高宮 寛  |
| エッチングモードおよびアドヒーズシブ塗布法がユニバーサルアドヒーズシブの象牙質初期接着強さに及ぼす影響                                                                                                                                                     | 横山 宗典 |
| リン酸三カルシウム配合歯磨剤が象牙質の脱灰抑制ならびに再石灰化に及ぼす影響                                                                                                                                                                   | 若松 賢吾 |
| Effects of <i>Fusobacterium nucleatum</i> on disruption of tight junction in human bronchial epithelial cell layer and mouse lung ( <i>Fusobacterium nucleatum</i> がヒト気管支上皮細胞層とマウス肺のタイトジャンクション破壊に及ぼす影響) | 唐橋 幸宏 |
| チタンディスクの研磨条件がヒト歯肉線維芽細胞接着に及ぼす影響                                                                                                                                                                          | 柳澤 直毅 |
| 支台歯テーパ角とセメントスペースの設定値が前歯部コンポジットレジンCAD/CAM冠の適合に及ぼす影響                                                                                                                                                      | 伊藤 恵吾 |
| Fracture strength of implant-supported veneered zirconia crowns with mechanical retentive devices attached to frameworks (フレームワークに機械的維持装置を付与したインプラント支持前装ジルコニア補綴装置の破壊強度)                                 | 小林 達朗 |
| 長石系陶材を用いた内面処理方法の違いが高透光性ジルコニアラミネートベニアの適合に及ぼす影響                                                                                                                                                           | 中世 大嗣 |
| Reduction of ghost images of cervical vertebrae and intervertebral space in vertical dual-exposure panoramic radiography (垂直2重パノラマX線撮影法による頸椎と椎間の障害陰影の低減)                                                | 加藤 正雄 |
| Correction of magnification in vertical dual-exposure panoramic radiography (垂直2重パノラマX線撮影法における拡大率補正)                                                                                                    | 木本 英昭 |
| Neonatal maternal separation induces oxidative stress causing orofacial mechanical allodynia in adulthood (新生児母子分離は成熟期において口腔顔面領域の機械アロディニアを誘発する酸化ストレスを惹起する)                                              | 相馬 千紘 |
| Linalool odor relieves oral ulcerative mucositis-induced pain via descending pain modulatory system (リナロール香気は下行性疼痛制御系を介して口内炎疼痛を軽減する)                                                                    | 飯田 理人 |

お知らせ

歯学部行事予定

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 4月 1日 (月)         | 第5学年登院式及びガイダンス    |
| 2日 (火)            | 開講式及び新入生オリエンテーション |
| 4日 (木)            | 第1～4学年前期授業開始      |
| 13日 (土)           | 実験動物慰霊祭、クラブガイダンス  |
| 19日 (金)・20日 (土)   | 第1学年オリエンテーション     |
| 5月10日 (金)・11日 (土) | 健康診断              |
| 29日 (水)           | 球技大会              |
| 6月10日 (土)         | 後援会総会             |
| 16日 (日)           | 第1回歯学部進学相談会       |
| 7月21日 (日)         | 第2回歯学部進学相談会       |

国家試験等

＝第117回歯科医師国家試験＝

試験は1月27日(土)・28日(日)に東京工科大学蒲田キャンパスで行われ、本学部の新卒の受験者は96名でした。

＝令和6年度附属歯科技工専門学校、附属歯科衛生専門学校入学試験＝

歯科技工専門学校は、8月から3月に試験が行われ、志願者18名、受験者18名、合格者18名でした。

歯科衛生専門学校は、8月から3月に試験が行われ、志願者40名、受験者39名、合格者39名でした。

＝令和5年度歯科技工士国家試験＝

試験は2月18日(日)に行われ、本校から13名が受験しました。

＝第33回歯科衛生士国家試験＝

試験は3月3日(日)に行われ、本校から32名が受験しました。

寄付金の受け入れ

＝佐藤奨学・研究基金＝

|      |                                           |     |
|------|-------------------------------------------|-----|
| 10万円 | 日本大学歯学部附属歯科技工専門学校 第68期卒業生<br>(代表 石川 正幸 殿) | 2.6 |
| 10万円 | 日本大学歯学部附属歯科衛生専門学校 第64期卒業生<br>(代表 伊藤 美穂 殿) | 2.2 |

＝研究助成金＝

|      |                                                 |      |
|------|-------------------------------------------------|------|
| 50万円 | クラレノリタケデンタル株式会社 歯科補綴学第Ⅲ講座へ<br>(代表取締役社長 山口 里志 殿) | 2.29 |
|------|-------------------------------------------------|------|

編集後記 .....

令和6年度が始まり、2週間ばかりが経過しました。新しい環境で過ごされることになった学生、先生方や職員の方にとっては少しずつ慣れてきた頃合いかと思います。昨年度より、縮小されていた学生行事やクラブ活動等が徐々に以前へと戻りつつあり、今年度はより一層盛んになってくるのではないのでしょうか。しかしながら、ただ以前のような活動に戻れば良いかといえますと、そうではないというのが端々に感じられます。コロナ期間を経たことで、学生同士で自分たちの【学生生活のあり方】というものをたくさん考え、どの様に実行していけば良いのか、それには何が必要なのかを以前よりも意識しているのではないのでしょうか。コロナ前とは違う様々な変化というものを、昨年度よりもさらに賑やかな紙面になっていくであろう桜歯ニュースを通じてお伝えできればと考えます。(M.T)



表紙の写真は佐藤紀子先生（健康科学分野）にご提供頂きました

第222号 日本大学歯学部発行  
東京都千代田区神田駿河台1-8-13 TEL 03 (3219) 8001